

長崎県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分		配点		100点
問題構成	大問5題構成（歴史1題、地理2題、公民1題、融合問題1題）。 歴史は古代から現代までで25点。昨年より大問数減少（2題→1題） 地理は日本地理の大問で15点、世界地理の大問で19点の計34点。 公民は政治分野、経済分野の出題で26点。昨年より大問数減少（2題→1題） 融合問題（歴史・公民）が追加された。2011年度以来の大問数の変化である。				

	令和7年度（2025）	令和6年度（2024）	令和5年度（2023）	令和4年度（2022）	令和3年度（2021）
問題量（A4で）	9 ページ分	8 ページ分	8 ページ分	8 ページ分	8 ページ分
小問数	30問	43問	42問	39問	40問
論述問題の数	8 問	8 問	6 問	5 問	6 問
論述問題配点	25点	23点	19点	16点	21点

【出題の傾向と対策】

① 歴史では、資料を参考とした論述問題が出題されるため、内容まで説明できるようにしておく。

R4 ①


問5 次の文は、Sの期歌に制作された右の資料について、かすみさんとまさおさんの間で交わされた会話の一部である。文の **T** にあてはまる内容を簡潔に書け。

かすみ：資料は『解体新書』の扉絵だね。『解体新書』はオランダ語で書かれた医学書を翻訳したものだよ。

まさお：オランダ語で西洋の学問や文化を学ぶことを蘭学といったけど、当時、なぜオランダ語を学んだのだろうか。

かすみ：それお江戸幕府が **T** からだよ。（以下略）

① 出来事だけではなく、深い内容まで考える問題も多い。




- ② 年表中のある期間におきた出来事に関する問題がよく出題されるので、出来事の前後関係やどの時代に起きた出来事が整理して覚えておく。（今年度の出題はないが、15年連続で出題されていた）
- ③ 歴史では、日本の出来事だけではなく、海外の出来事も出題される。特に中世以降の出題が多いため、内容をしっかり確認しておく。
- ④ 日本地理では、地形図から読み取れる内容について問う問題が毎年出題されているため、地図記号や縮尺・方位などを把握し、地形図を正しく読み取れるかどうかが鍵となる。


R6 ③ 問1

(3) 地形図にある宇治川は、かつて氾濫し、写真のような周辺が浸水したことがある。同じような災害が発生した時、浸水する被害を最も受けにくいと考えられる地点を、地形図の・で示したA～Dの地点から1つ選び、記号を書け。

写真



地形図



④ 地形図に関する問題は毎年出題されている。実際の距離の計算、図記号の読み取り、等高線の読み取りなど幅広く出題される。

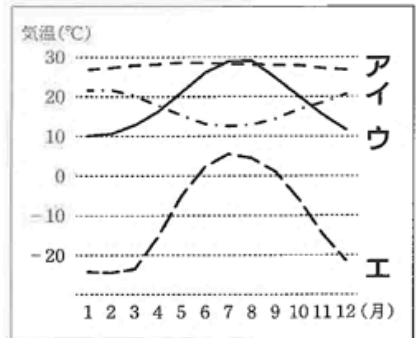
- ⑤ 説明文から都道府県を考えさせ、その県庁所在地を漢字指定で答えさせる問題が、毎年出題されている。どこの県庁所在地が出題されても大丈夫なように漢字で書けるかを確認しておくこととともに、各都道府県の特徴も理解しておくこと。
- ⑥ 地理（日本地理・世界地理）では、資料をもとに、論述する問題が多い。そのため、資料を丁寧に読み取って、記述する練習が必要である。

R7 ② 問1

(3) グラフのア～エは、地図に示した a～d の都市の次ごとの平均気温を表している。このうち、b の都市を示すグラフとして、正しいものは次のどれか。また、そのように判断した理由を簡潔に書け。なお、具体的な気温の数値を示す必要はない。

⑥ 地理分野の論述は、様々な知識を覚えておくのは、もちろんだが、資料(統計・表・雨温図など)を読み取る力やそれを活用する力が必要となる。

グラフ



(『理科年表 2024』から作成)

- ⑦ 公民分野の論述では、仕組みについての知識を前提とした論述問題にも慣れておこう。

R6 ⑤

問4 下線部④に関して、表Ⅱは文化祭の取り組みを学年で一つ決めるために、すべてのクラスで投票した結果である。また、次の会話は表Ⅱの結果をもとに、実行委員会の代表生徒が話し合った会話の一部である。□S□, □T□ にあてはまる内容を書け。なお、具体的な数値を示す必要はない。

表Ⅱ

(単位は票)

	1組	2組	3組
劇	22	10	18
合唱	14	25	14
映画製作	4	5	1

会話文

シオン：クラスによって投票の結果に違いがありますね。この結果をふまえ、学年の取り組みは何が良いと思いますか。

マコト：私は劇が良いと思います。その理由は、□S□ からです。

ユウリ：私は合唱が良いと思います。その理由は、□T□ からです。

シオン：でも、マコトさんとユウリさんの意見では映画製作に投票した人の意見は反映されませんよね。少数の意見を反映しながらどのように決めたら良いか、話し合っていきましょう。

⑦ 公民分野の論述は、前提となる知識を覚えておかないと歯が立たない論述問題が出題される年もある。制度や仕組みを整理して覚えておく必要がある。

- ⑧ 論述問題は、答えを書く前に聞かれていること、使わないといけな資料・語句、文末表現などを確認してから書き始めよう。

⑧ 論述問題は、文の一部を答えるものや理由を答えるものなど色々なパターンで出題される。会話文や説明文の空欄を埋める問題の場合、空欄の続きの文章に繋がられるように、文末表現に気をつけよう。指定語句がはっきり書かれておらず、「ただし○○についてふれること」となっている場合もあるので注意が必要だ。

- ⑨ 各分野の正誤問題が入試で聞かれることが多いため、語句をそのまま覚えるのではなく、意味や内容も覚えておくこと。自分の言葉で説明できるようにしよう。

解答

R4 ① 問5 T: (例) (鎖国政策を実施して)ヨーロッパの国々との通商をオランダに限定した

R6 ③ 問1 (3) C

R7 ② 問1 (3) 記号: イ

理由: (例) bは南半球に位置しており、6月から8月の気温が低いから。

R6 ⑤ 問4 S: (例) 2つのクラスで劇の票が最も多い

T: (例) 学年全体で合唱の票が最も多い